**第１２回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年１１月　６日（月）　１８時００分～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　 雨洗　康江

副部会長　田渕　純勝

　　　　 　　部会員　 千葉　円哉

今 　順子

　　　　　　　　　　　　 梅田　秀人（協働推進庁内委員会部会長）

 【保健福祉部次長】

◆ 欠席部会員：部会員　　岩浅　眞純

　　　　　　　　　　　 　鎌田　和子

平田　雅樹（協働推進庁内委員会副部会長）

【保健福祉部子育てグループ総括主幹】

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

早坂　晃正【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議　　　題： 特定健診の受診率向上のための取り組みについて

≪部会長≫

　皆さんこんばんは。

　最初に前回の部会長・副部会長会議の内容を事務局から報告をお願いします。

≪事務局≫

部会長・副部会長会議で情報提供した資料をお手元に配付しております。

Ａ３横版の資料をご覧ください。

この資料は、前回の部会長・副部会長会議で配付したものをベースとし、「現在の取組内容」欄を最新の状況に更新しているのと、各部会の中で協議し、平成３０年度の取組に必要な予算として要求している内容を「取組に係る必要予算」欄に記載しております。

会議では、まずは各部会の『健康』に関する取り組みの進捗状況の確認及び情報共有を図りました。

併せて、一部の自治推進委員をはじめ、その他色々な方面から、「健康に関する取り組みは、今後どうしていくのか」ですとか、「続けるのか、やめるのか、又は違う新しいテーマを設けるのか」などといったご意見を聞くようになり、まずは部会長・副部会長会議で一度、『健康』というテーマの方向性の確認を行い、各部会等で協議していただくということで、一番右の「今後の方針・予定」欄を空欄としております。

　『健康』に関する取り組みは、例えば料理教室や健康座談会など、既に取り組みを実施している部会もあれば、ウオーキングマップ更新後に取り組みを検討している部会もあるなど、進捗状況は各部会でまちまちであることから、現段階では『健康』に関するテーマについて、統一したゴールは定めず、各部会、必要な取り組みは継続しつつ、登別市まちづくり基本条例で定める、市民自治の推進や市民と市の協働のあり方、また、市の進める事務・事業等について協議していくこととしました。

また、市の企画調整グループから、第３期基本計画・第１次実施計画における進捗状況について、文書にて報告と意見照会があったことを受け、まずは部会長・副部会長会議で内容等について直接説明してもらい、必要に応じて各部会においても説明をして欲しい、といった要望もありました。

次に、「広報８月号」と書いてある資料ですが、これまでの部会長・副部会長会議でも、市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に１度くらいは広報紙で周知した方が良いのでは、という意見があったことから、広報８月号に掲載したものを参考にお配りいたします。

続きまして、両面刷りの新聞記事をご覧ください。

１０月１３日付けの記事では、市民自治推進委員会の活動に関する説明、裏面の記事では、まちづくり部会が取り組む「健康座談会」について紹介されましたので、のち程ご覧いただければと思います。

最後に、Ａ３縦版の記事ですが受動喫煙の防止関連についてであります。

道の受動喫煙防止条例の動きに合わせ、登別でも受動喫煙防止を進めていく必要があり、市民自治推進委員会においても逐次、情報提供していくこととしておりました。

この記事は、北海道がん対策「六位一体」協議会が、北海道がんサミットでまとめた要望を北海道や札幌市等に手渡し、施策で実現するよう要望する、という内容のもので、１１項目に渡る要望内容となっております。

こちらについてものち程ご覧いただければと思います。

事務局からの説明は以上になりますが、副部会長が出席されていましたので、補足等があればお願いします。

それでは部会長よろしくお願いします。

≪部会長≫

　ありがとうございます。

　当日私が欠席してしまいましたので、副部会長にご出席いただきました。

お気づきの点がありましたら、補足等をお願いします。

≪副部会長≫

　今Ａ３に記載されている内容について、私から補足させて頂いたことが、具体的な取り組み活動について、現在協議中のため決定していない状況であると説明させていただきました。

　もう一つは、健康診断に行っていなかった方にガンが見つかったという話をさせていただきました。別の病気で定期的に通院はしていたのですが、もしその通院先の病院で健康診断を受けていますかという声掛けがあればもっと早い段階で発見することができたのではと感じており、部会の中でも、病院側からの声掛けという部分を強調して協議して行くというお話をさせていただきました。

≪部会員≫

　先程、副部会長から病院からの定期検診についての周知の話がありましたが、先日健康教室を開催した際に、病院から特定健診を受けているか会員の方が聞かれたそうです。実施している病院もあるので周知徹底することで受診率は向上するのではないかと感じました。

≪副部会長≫

　先日、私の自宅に市から特定健診を受けているかという内容の電話が市からありました。健診を受けているのに電話が来たので、せっかく電話をかけるのであれば、例年受けている人には電話をしないなど、無駄をなくすようにできないのか検討したほうが良いと思いました。

≪部会員≫

　健診を受診していない人も、一度受診することで継続するようになると思います。

やはり最初のきっかけを作ることが大切ですね。

≪副部会長≫

　先日、社会福祉協議会が行うシンポジウムで事例発表があり、アーニスで血圧の測定などを行っているという内容がありました。

　例えばその時に健診を受けるよう声掛けをお願いすることはできるのではないかと思いました。

≪部会員≫

　毎月１５日には「きずなショップ」を行っている。

　多くの方が来てくれていると感じる。また、毎月来てくれている方もいるので、そのような場を利用できると良いと思います。

≪部会長≫

　町内会で行う総会等でも健診について話題があればきっかけになるのではと思います。

≪部会員≫

　先日、初めて市民スポーツフェスティバルに参加させていただきましたが、プールにたくさんの方が来られていた。そういったイベントに合わせて啓発し検診車を呼ぶことができるのであればより効果的ではないかと思います。

≪事務局≫

　前回の部会長・副部会長会議では、健康に関する取り組みについては、部会ごとに進行状況が違うので、それぞれの部会で今後の進め方をどうするか検討するという話になっています。

　ぬくもり部会としては、取り組み途中であるため、今後も継続して行くことになりますね。

≪副部会長≫

　すでに行政から医師会に依頼しているのでしょうが、もう一度、後押し的に依頼をお願いしたいところですね。

≪庁内委員≫

　直接個々の病院を回ることは難しいので、医師会を通して再度依頼することが可能か担当と相談いたします。

≪部会員≫

　幼稚園は親もまだ若い年代の方が多いので、病気の予防や早期発見が大事になるとと思いますが、健診は受けているのですか。

≪部会員≫

　やはり本人よりも子供が優先になってしまいますね。

≪部会長≫

　逆に年を取れば介護が大変になり、自分のためより人のためになってしまいますね。

　病院に行く方は病院での声掛けで受診を促すことができると思いますが、病院に行かない方に周知することも大切ですね。

≪部会員≫

　町内会で健診の話題はないのではないでしょうか。

≪事務局≫

　町内会は回覧を使って周知していますね。

≪部会長≫

　回覧をじっくり読んでいる人は少ないかと思います。次に回そうと急いでしまいます。

≪部会員≫

　高齢者向けの体操については回覧でよく見かけますが、特定健診について回覧されていることには気が付きませんでした。

≪事務局≫

　集まりがある時に前回話を聞いた特定健診の説明ができれば良いですね。

≪部会長≫

　町内会の婦人会の中では健診の話題があり毎年受けている方も多いです。

逆に健診を受けていないのは商売を行っている方が多いかと思います。

≪副部会長≫

　以前、連合町内会の総会の最後に特定健診の説明を市にお願いしたことがありました。

総会の最後ということもありましたが、効果はあまりないのではと感じました。やり方を考える必要もあるが、冒頭でその話をすることもできないかと思うので、難しいと感じます。

　それであれば、総会や連合町内会で行う女性まちづくり研修会などでチラシを配る方がその１枚を手に取るので見てくれるのではないかと思います。

また、務めていた女性が専業主婦になり健康診断から離れてしまう方も多いかと感じられ気になるところではありますね。

≪事務局≫

　ぬくもり部会としては、市から医師会に改めて特定健診の受診をするように声掛けを依頼できないかということがありましたが、それ以外ですと集まりのときに啓発をすることが取り組みになるということですね。

≪部会員≫

　市の広報を使うことはできないのでしょうか。

　絵を付けてＡ４一枚でわかりやすいチラシを作成し広報に挟むことができると良いと思います。インターネットを利用してホームページやＳＮＳなどを利用することが当たり前の時代ですが、年齢層を考えると広報を使って定期的にチラシが見られる方が良いと思います。

≪事務局≫

　特集記事があっても良いかもしれませんね。

≪副部会長≫

　特定健診を受け病気を早期発見し受診して良かったという事例があるとＰＲになると思います。

≪事務局≫

　その内容が広報紙に掲載できるとＰＲになりますね。

≪庁内委員≫

　事例があるか国民健康保険グループに確認してみます。

≪事務局≫

　市から医師会への依頼や広報誌の掲載の話がありましたが、皆さんの方で協力できて行えることはないでしょうか。

≪副部会長≫

　サロンや総会など人が集まっているところに出向くことはできますね。しかし、説明はプロにしていただかないと厳しいと思います。

≪部会員≫

　検診車は、市が依頼すれば来てもらえるのですか。

≪庁内委員≫

　契約になっているので、突然増やすことはできません。

　年間で実施する回数が決められています。

≪部会員≫

　総会や集まりなどに合わせて依頼し検診車を呼ぶことができれば受ける方もいると思いまいます。

　検診車が来る日に合わせて総会を行うということもできるかもしれません。

　その方が都合は良いですね。

≪副部会長≫

　イベントでチラシを配るだけであれば私達でもできますね。

≪副部会長≫

　うるさいと思われるくらい啓発しなければ伝わらないと思います。

≪部会員≫

　特定健診を受診して良かったという話が欲しいですね。

≪副部会長≫

　イベントでのチラシ配付や広報紙で特集記事の掲載、サロン等での啓発と意見がでておりましたが、予算をかけずに取り組むことができるかと思います。

≪部会長≫

　今回上がった意見について次回以降で詳細を決めていくという流れになりますね。

　また、ぬくもり部会以外の部会でも多数の団体から参加していただいているので、そこでも周知をすることはできると思います。

≪部会員≫

　これらの取り組みでどれほどの効果がでたのか計ることは難しい内容になりますね。

≪副部会長≫

　もちろんわからないことではありますが、やらないと受診率は向上しないので数％でも上昇した場合は成果としてみるしかないですね。

≪事務局≫

　部会としては、特定健診の受診率向上のために、医師会へ依頼して病院側から声掛けをしていただくことと、広報誌を活用し体験談を掲載することやイベント等でチラシを配付し周知するということが第一段階になるということでよろしいでしょうか。

≪部会長≫

　この「健康」の取り組みについて、今出ている内容に着手して落ち着いてから次の内容について協議して行くということになりますね。

≪事務局≫

　保健福祉部としては、今すぐに動ける内容のものはありますか。

≪庁内委員≫

　各担当部署と協議し、どのような内容の取り組みができるのか出してもらいます。

　医師会への依頼は、先生方が集まるタイミングでの依頼になりますので調整していきたいと思います。

　チラシの配付については、担当でどのような内容のものができるのか検討したいと思います。

　≪事務局≫

　次回、どのような方向で取り組めるかを報告していただき、部会として今後どのような取り組みをするのかを協議するということですね。

≪副部会長≫

　取り組んだ内容の効果はすぐに出ないので、その間に別の内容について協議することもできます。

≪部会長≫

　それでは本日も長時間ありがとうございました。

**【次回以降について】**

・特定健診受診率の向上のための取り組みについて

・次回開催　１月中